

日野病院組合

# 黒坂診療が開所

2/25

から毎週水・金曜日

午後2時～午後4時

黒坂診療所（町公民館内）電話 74-0351

## 黒坂診療所のご案内

### 住民の皆様

開所	<p>診察 毎週水・金曜日</p> <p>時間 午後2時～午後4時 (祝日の場合は休診します)</p>
内容	<p>町公民館内に診療所を開設しました。浜副病院長が出向き、内科・外科を診察します。受診後の処方箋（薬）は、患者さんが希望する薬局でお受け取りください。（トミヤ調剤薬局・おしどり調剤薬局は、自宅まで配達します）。診察料は診療所（受付）で支払い、薬代は配達時に支払ってください。</p> <p>各方面に無料送迎車を運行しますので、ご利用ください。</p>

信頼され、親しまれる病院をめざします。

日野病院組合黒坂診療所

電話 (0859) 74 0351

お気軽にご参加ください。

### 開所記念の Event **催し**

もちつき・ぜんざいサービス

時間 正午～午後1時

場所 町公民館ロビー

内容 寿来の会（久住）によるもちつき、黒坂地区の皆さんによるぜんざいサービス。

講演会

講師 浜副隆一病院長

演題 病気とうまくつきあう法

時間 午後1時～午後1時50分

場所 町公民館講堂（2階）



# 地域医療の確立へ

黒坂地区に診療所を。住民の願いに応え、黒坂に診療所ができます。

山間地中核病院として信頼される病院をめざす日野病院組合（管理者梅林豊）は、黒坂地区の医療充実を図ろうと、2月25日から週2回（水・金）、町公民館内に黒坂診療所を開設します。診療所は、町公民館内の一部（約37平方メートル）を改装。中には、診察室、処置室、受付待合室があります。

現在、黒坂地区は歯科以外に診療所がなく、日野病院まで車で15分かかっていました。以前黒坂街部には、佐伯医院がありました。約15年前にその灯りも消えました。これを受け、日



看護師「長岡恵子さん

浜副病院長

医事課「倉間紀代子さん

私たちが行きます。  
よろしく願います。



送迎車

黒坂診療所と地域を無料運行

町民歌「きらりこのまち」を流しながら運行します。ご利用の方は、手を上げてお知らせください。

無料送迎車のコースと通過時間

下記時刻は通過の目安です。運行コースなど詳しくは、日野病院（電話 72-0351）にお問合せください。

上菅方面

- 諏訪集会所 13:25
- 漆原集会所 13:30
- 上菅駅前 13:35
- 小河内バス停 13:40

帰路便は 15:00 診療所発

久住方面（毎週水曜日運行）

- 久住集会所 14:05

帰路便は 15:30 診療所発

■中菅方面（毎週金曜日運行）

- 畑中央橋 13:55
- 中菅集会所 14:10

帰路便は 15:30 診療所発

■下黒坂・下菅方面

- 下黒坂公民館 14:30
- 下菅集会所 14:35

帰路便は 16:10 診療所発

野病院による巡回診療所が平成2年11月に開設。老人福祉センターの一部を利用して行われていましたが、平成12年に発生した鳥取県西部地震を機に取りやめになりました。

この医療の現状に住民から「診療所を開設してほしい」と要望があり、このたび日野病院組合が地域の声に応え、診療所を開設することにしました。

黒坂診療所の診療日は、水曜日と金曜日の週2回で、診療科目は内科と外科。診療は浜副隆一病院長が担当し、心電計やエコー（超音波診断装置）などを使って診療します。スタッフは看護師と受付などを担当する事務職員が出向きます。診察時間

（受付時間）は午後2時から午後4時までです。

診察料は受診後に受付窓口で支払い、処方箋（薬）が出る場合は、患者が指定した薬局で受け取ります。なお、トミヤ調剤薬局・おしどり調剤薬局であれば直接自宅まで配達します。薬代は受取時に支払ってください。また、多くの人に利用してもらおうと、各黒坂地区内と診療所の間を運行する無料送迎車（10人乗り）を走らせ、受診者の利便を図ります。

日野病院は、積極的に地域に出かけていくなど地域の事情に合わせた独自医療サービスを検討するなど、まちの医療拠点として期待されています。

## Interview

日野病院の病院長に就任して8か月が過ぎた浜副病院長。日野病院は、だれもが生きいきと暮らせるまちの実現に向け、1歩1歩着実に前進しています。黒坂診療所の開設や日野病院の展望について話を聞きました。



Ryūichi Hamazoe

浜副隆一病院長  
はまぞえ・りゅういち

これからも地域の声に応えられるよう努めます

日野病院まで距離のあった黒坂地区に診療所を開設しました。診療所を拠点として地域に良質の医療を提供していきたいと思っています。これからも地域の要望に応えられるよう取り組んでいきます。これからも、地域に出かけていくなど皆さんにとって身近な存在になりたいです。